

# 交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2017年2月14日

No.9

## 2017JR総連春闘 闘争開始！！

# ベースアップ 6,000 円要求！

## 回答指定日3月17日(金)

### ～ 「2017年度新賃金要求の申し入れ(申第6号)」第1回交渉報告 ～

中央本部は、本日13時30分より「2017年度新賃金要求の申し入れ(申第6号)」とあわせて「諸要求改善に向けた申し入れ(申第7号)」を会社に提出しました。

申し入れにあたって中央本部は、①鉄道事業部門の黒字化に向け、組合員は血を流して、額に汗をかき、安全を最優先として職場から奮闘している。②その結果、収入は向上している。したがって落ち着き見込みはあるが、今春闘はその結果にこだわっていく。③経営の自立をめざすのであり、ベースアップにはこだわっていく。④2017年度の新賃金は定期昇給4号俸を前提としてベースアップは6,000円を実施すること、平成13年度以前に採用された社員への1号俸を引き上げること。⑤諸要求改善については、諸制度の改善、契約・臨時社員の労働条件の改善、職場環境改善の内容を申し入れる。また、回答指定日は3月17日(金)とするので誠意ある回答を示すことを主張しました。

これに対して会社は、①4月に熊本地震が発生して以降、様々な自然災害が発生したが、貨物労組組合員が協力していることに感謝申し上げます。②鉄道事業部門の黒字化に向けては本年度が最後である。毎日、営業成績が見えるようにしている。③提出された要求項目について回答指定日に向けて真摯に交渉を重ねていきたいと見解を明らかにしました。

これに対して中央本部は、今春闘交渉に臨むにあたって、①この間、私たちは17年連続のペアゼロ、各種手当の削減、働き度向上における各施策などにおいて我々は血と汗を流してきた。我々は自信を持って要求している。②平成13年度以前に採用された社員への1号俸を引き上げることについては、昨年の積み残し課題である。③2年間新規採用を凍結し、今年度は新採を実施してきたが、若年退職が後を絶たない。この歯止め策として、社員のモチベーションを向上させるよう、ペアを実現すべきである。④この先どうなるのかということを確認すること。我々は今まで諸手当削減や働き度向上施策などにおいて我慢してきた。その結果、ゆがみやひずみが発生している。それを元にもどすためにしっかりと議論していくことを突き付けて第1回交渉を終了しました。

組合員の皆さん。貨物労組の2017JR総連春闘がスタートしました。今次春闘では、17年連続ペアゼロを打開し、昨年の積み残しである平成13年度以前に採用された社員への1号俸の引き上げを勝ち取るために労使交渉と職場からの闘いを結合させ一体となった取り組みをつくり出していきます。中央本部は、その最先頭で闘うことを明らかにして、第1回交渉報告とします。

次回、第2回交渉は2月24日(金)です。

以上